

経営比較分析表

長野県 御代田町

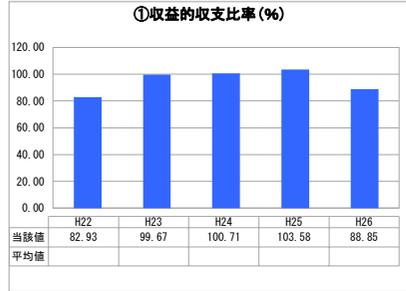
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	6.82	96.93	4,536

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,455	58.79	262.88
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,052	0.40	2,630.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



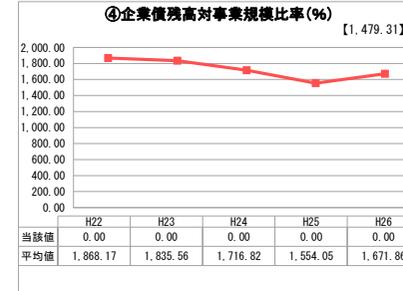
「単年度の収支」



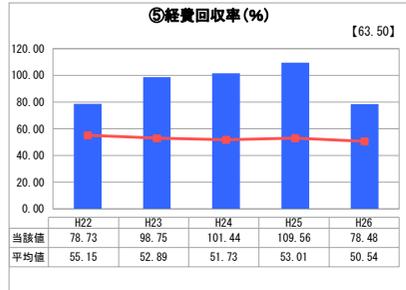
「累積欠損」



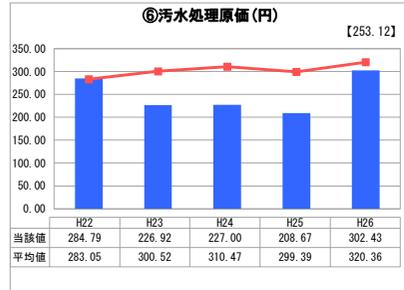
「支払能力」



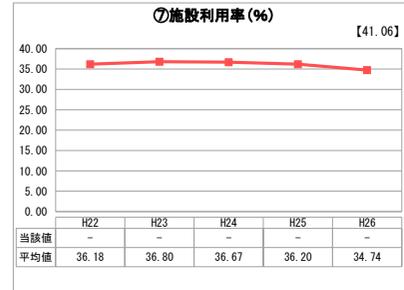
「債務残高」



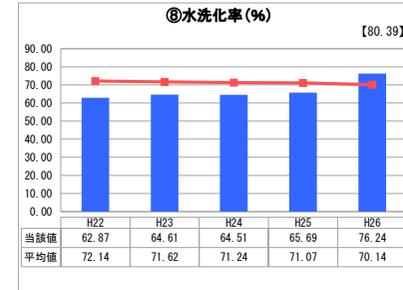
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

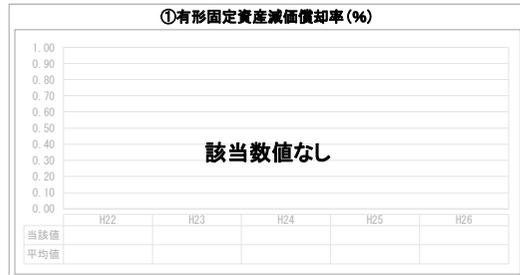


「施設の効率性」

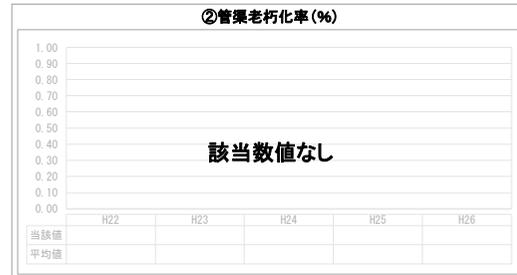


「使用料対象の捕捉」

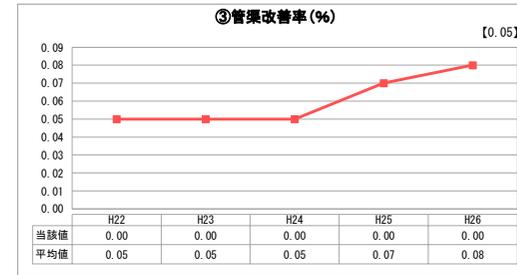
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
一時100%を超える数値でしたが、現在は80%台で推移しています。今後、企業債償還が進むことで改善していくと思われます。
- 企業債の償還金を一般会計からの繰入金ですべて賄っているため、数値は0となっています。
- 経費回収率
一時100%を超える数値でしたが、汚水処理費が増加したことにより、使用料収入のみでは賅えない状況になっています。しかしながら、類似団体の平均値との比較では、高い水準で推移しています。
- 汚水処理原価
類似団体の平均値よりも低い水準ですが、経年比較では、減少から再度増加に転じているため、流入汚水量に対しての処理コストが増加していることが分かります。
- 施設利用率
実績値がないため、比較検討できません。
- 水洗化率
水洗率(接続率)は年々向上しており、流入汚水量は増加しています。平成26年度には類似団体の平均値を上回る水準となりました。

2. 老朽化の状況について

管渠については、事業計画に点検の方法・頻度、維持管理に関する中長期的な方針等を盛り込み、計画的な維持管理と改築更新を行う予定です。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業を今後も継続的に実施するためには、維持管理費の更なる削減、改築更新の計画的な実施による支出の平準化、水洗化率の向上、適正な料金設定など総合的に取り組み、経営の健全化、効率化を目指す必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。